

地域住民のご意見とその対応ーその他

No	分野	項目	主な意見	意見者					意見	回答案
				意見箱	インターネット	オープンハウス	説明会	FAX		
1	治水	整備の進め方	河川整備を着実に実施してほしい	○					整備状況について、断面不足、堤防高や幅の不足、浸透破壊の対策などを早期、計画的に実施していただきたい。	河川整備の目標を実現できるよう、今後も計画的かつ着実に河川整備、管理に取り組んでまいります。
2				○					小矢部川流域は、過去から幾度となく台風や梅雨前線による洪水被害に見舞われている。小矢部市小神地区の住民談では、同地区では、豪雨による増水で、横江宮川との合流点より上流へ逆流し、耕作地に河川水が流入した被害が発生し、地域住民を悩ませた経緯がある。 現在、小神地区の横江宮川は、河川改修工事が施工中（北陸地整、富山県）であり、地域の治水、安全確保のためにも、早急な工事の竣工が望まれる。	
3					○				堤防整備、河道掘削の整備必要箇所がこんなに多くあるとは、早く整備を行い安心な河川になればと思います。	
4					○				近年の洪水被害の発生から河川整備が必要であると考えます。	
5					○				河川整備の目標が実現するようこれからも河川の整備、管理をよろしく願います。	
6					○				第一優先は洪水等による災害の発生の防止が重要と思われます。特に下流側の小矢部川の蛇行部に合流する祖父川や千保川流域にある高岡市住民への災害が心配です。耐震性の向上を含めて安全な堤防構造を望みます。	
7					○				30年という長期の計画なのだから、被害をなくす効果が高い地域を優先して工事を行ってほしい。	
8					○				整備実施項目が多岐に渡るが、優先順位（実施可能時期の問題もあると思うので）を明確にして効率良い整備を行って欲しい。	
9						○			しっかりした堤防を作って欲しい	
10						○			治水事業が大切	
11						○			富山県は大きな川が多いので洪水対策をしっかりしてほしい	
12						○			安全が第一	
13						○			平成20年の災害は経験したことのないようなものだった。洪水対策しっかりして欲しい	
14						○			治水は現状においても未完の事業であることを再認識すると共に、日頃の疑問に答えていただき大変勉強になりました。ありがとうございました。	
15							○		安全な河川をつくるため早く事業に着手されたい	
16							○		河道断面が「基本高水のピーク流量」より不足している箇所が福岡地区より下流域に多く見られます。30年後と言わず、なるべく早く不足していない状態になるようお願いします。	
17		整備方法・整備箇所等	具体的な整備方法を教えてほしい				○		支川横江宮川下流 下後巫～小矢部川迄 河道断面 容量が不足している	横江宮川の合流点については、現在整備を実施しています。
18			堤防整備以外にも方法はあるのではないか			○			水資源の乏しい地域の者にとっては富山は逆に羨ましいとも言えます。他県では河口付近に川のバイパスの放水路、河川氾濫時に川の水を一時的に貯える貯水池を設けてありますので堤防整備以外の対策も多様に考えられるのではないかと感じました。	調節池や流域貯留による治水対策も考えられますが、これらの案を含めて検討した結果、現在の治水対策を選定しています。
19						○			調整池も整備の方法もあるのでは？ 景観上も堤防整備だと景色が見えなくなる 各家庭で貯留して流出を減らすということもできるのでは？	
20		提水供防・情報組の	ソフト対策についても充実を図っていただきたい	○					ホームページ上には小矢部市各地区の洪水ハザードマップがありますが、素晴らしい出来栄えなので、各地区に印刷物で配布したり、掲示板として設置したりすることは可能でしょうか。	洪水ハザードマップは、小矢部市で作成していますので、頂いたご意見は小矢部市にお伝えします。
21				○					ダム放流や流水量などがわかる携掲示板（電光）を人の集まるところに設置してほしい。	ダム放流等の通知は、ダム管理者によって行われるべきものであるため、現在、国土交通省での設置は予定していませんが、ダム管理者とも連携しながら河川情報の提供に努めて参ります。

No	分野	項目	主な意見	意見者					意見	回答案
				意見箱	インターネット	オープンハウス	説明会	FAX		
22	治水	維持管理	維持管理をしっかりと		○				地域住民も参加できる維持管理が可能でないか。(例;河道内樹木の伐採→薪として利用してもらう)	現在でも伐採樹木の無償提供を実施しております。
23					○				樋門・樋管及び排水機場等、河川管理施設は内水の管理に大変重要作業である。 「適切な点検等は抽象的である。」は抽象的でありもっと具体的に、どのような関係機関で操作するのか記載が必要と思われる	点検・操作に関しては、各樋門・樋管の管理者がそれぞれ実施することになっており、具体的に記載することは困難と考えています。なお、県・市等の施設については、適切な維持管理を行うよう指導を行っています。
24		個別箇所	個別箇所の要望等		○				小矢部川はくねくねしているように思いますが、いろんな意味で影響等があるのでしょうか。	河川の湾曲部は、増水時に堤防等にあたる水の流れが特に強くなるため、河岸侵食のおそれが高くなります。巡視及び点検を適切に実施し、侵食のおそれがある箇所は、護岸整備を実施していきます。
25							○		国交省から、H20年7月洪水後に津沢で実施した河道掘削が完了すれば、左岸のゲートボール場の駐車場は水に浸からないと聞いたが、河道掘削完了後も何度も水が浸っている。	大きな洪水が来たときには、高水敷を含めた河道部全体で洪水を流すことができるよう計画していますので、高水敷にある駐車場は水に浸かります。
26							○		小矢部川にかかる橋が多いが、橋の管理者はどこか？ 聖人橋は明治に架けたものと思われ老朽化が目立つ、架け替えできないのか？	国土交通省では、橋を架ける際の許認可審査を行っています。橋梁の管理者は、道路管理者や鉄道管理者です。 聖人橋は、市が管理しているため、市にお伝えします。
27		河川整備区間の変更	国の対象区間を見直してほしい		○				小矢部川は、富山県内の他の一級河川に比べ、氾濫注意水位等に達する頻度が多すぎると感じています。また、H20年の出水は平水位から3時間でHWL近くまで水位が上昇しました。近年は気候変動の影響なのかゲリラ的な集中豪雨も増えています。以上を考えると、気候変動等を考慮した計画高水流量の見直しが必要ではないでしょうか。近年の出水では県の管理区間での氾濫が多いと思いますが、現状で安全度の低い区間は国で改修すべきだと思います。	現時点では計画高水流量の見直しを行う予定はありません。 なお、県管理の支川の合流点など、必要な場合は、県と調整し国で整備を行っています。
28							○		国の対象区間の見直しを欲しい。 小矢部川、山田川の合流地点に大井川もあります。 南砺市上川崎の川崎橋まで延長して下さい。(3河川合流している地点) 小矢部市鴨島186番地の1地先からあと2kmぐらいです	現時点では南砺市上川崎の川崎橋まで国管理区間を延長する予定はありません。
29	環境	水質	湧水箇所の維持に配慮し、水質をきれいにしてほしい		○				環境基準はどのように決まっているのですか。 ただちに達成だと、現在の水質にあわせた基準に思うのですが。 全区間 A類型ではだめ？ ワンランク上の目標にしない？	水質の類型指定は水質汚濁防止法第16条で各県知事が決定することになっています。
30		景観活用・	堤防除草、不法投棄対策を充実し、景観を維持してほしい		○				河川内の草が多くなるとゴミの投棄が増えるような気がするので、できるだけ除草をこまめに行ってほしい。	堤防の除草時期、頻度は、草の生育状況等を考慮して定めています。
31					○				堤防の除草についてですが、堤防をよく散歩するのですが市民の憩いの場となる川なので除草の回数をふやして欲しい。	
32		環境自然	小矢部川に生息する生物を保全してほしい		○				小矢部川にはワンドがあるのですか？ワンドの写真がないし、記憶にないので教えてください。	小矢部川の千保川合流点付近にワンドが存在します。このほかにも支川合流点付近で細流が見られ、多様な河川環境が存在しています。
33	全般	資料構成	文章が多すぎるのではないか	○					文が多すぎます 図表・写真等が必要	整備計画では、洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項、河川環境の整備と保全に関する事項について、現状と課題、整備計画の目標、整備計画の実施を文章・写真等でご説明しています。
34				○					全体的に表現が難しく、一度読んだだけでは理解するのが難しい。	
35				○					2章、4章、5章と分けて書くと似たような事項が何度も書かれている気がする。	
36				○					全体的に難しい文章が多いと感じた。 これからの子供たちの将来のために、豊かで美しい小矢川を守っていただく。	
37					○				全体的に、住民が最も知りたい情報が不足している気がします。	
38					○				文章説明が多く、何がどのように足りなくて何をするのが、なんとなく見えてきません。	
39						○			洪水等による災害の発生の防止について記載内容を一般の人の目線で記載したほうが良い	

No	分野	項目	主な意見	意見者					意見	回答案
				意見箱	インターネット	オープンハウス	説明会	FAX		
40	全般	資料構成	整備の優先順位を示してほしい		○				河川整備の予算に関するコメントは無し？	河川整備計画は、河川工事の目的・種類・場所等を定めるもので、個々の事業の完成予定年度や事業費を定める計画ではないため、記載しておりません。
41					○				多分、30年をかけて河川整備するのだと思いますが、対策箇所の優先順位について地域住民が納得できるような方針が必要では。	
42					○				「堤防整備状況」で堤防高や幅が不足している区間があると記載されている。それに対して、河川整備の実施に関する事項に「堤防の整備」と明記があるが、具体的な目標年次等が示されないと住民の不安は解消されないのではないかと感じます。	
43			その他		○				図1.2 日本の主な川と勾配で神通川の標高はどこから？	
44							○		計画に基づいた工事の着手はいつ頃からか？	
45	その他	感想	知らないことがわかりました	○					よい	河川整備の目標を実現できるよう、今後も計画的かつ着実に河川整備、管理に取り組んでまいります。
46						○			知らない事が分かりました。	
47							○		河川の概要からどう整備されるのか説明していただき分かりやすく理解できた。	
48							○		とてもわかり易い説明であった。	
49							○		意見なし	
50		国管理区間以外	断面毎に図面を示してはどうか			○			庄川 川口(牧野地域)の沿岸地域の堤防が非常に危険と思われる。非常に危惧している。	庄川において、牧野地区の堤防整備は実施しています。
51						○			山田川の整備は国が行なっているのか？県が行なっているのか？平成20年に洪水被害が山田川で生じたが、あれは大きなものだったのか？	山田川は富山県で整備を行っています。 平成20年7月に発生した洪水は津沢地点において既往最大の洪水でした。
52						○			県と地方整備局(国)との担当区域が分けられていることを初めて知りました。治水対策には区域分担は有効かもしれませんが、地震対策(砂防)についての連携は容易ではないかと思しますので尚一層の連携が必要かと思えます。	今後も関係機関と連携し、管理を実施して参ります。
53						○			山田川には昔はコイがいた。山田川と池川でも生物調査を実施して欲しい。	富山県で管理する区間のため、ご意見を富山県にお伝えします。
54							○		下流の話は、下流ですべき。上流ですべきでない。南砺市でこのような説明会を開催しても具体的な話がないなら意味が無い。県も同席すべきだ。	住民説明会は、小矢部川の流れている、高岡市、小矢部市、射水市、南砺市で実施しています。県管理区間の意見は、富山県にお伝えしています。
55							○		川原地区では、堤防が決壊すれば、ほとんどの家が床上浸水する。地域のみなさんが安心できるようにしていただきたい。	富山県で管理する区間のため、ご意見を富山県にお伝えします。
56							○		小矢部川、山田川、大井川の3本の河川が合流する箇所では、洪水時に水位が上がしやすい。また、山田川は、小矢部川の直轄区間に比べると土砂が堆積しており、樹木も繁茂しているため、適切な維持管理をしていただきたい。	
57							○		川原地区水天宮付近について年2回除草を実施しているが、除草しているときに、石積みが崩れそうになるため、点検を実施していただきたい。また、背後地は市街地のため、安心できるような護岸に整備していただきたい。	
58							○		小矢部川、山田川、大井川の3河川が合流する地点に橋があり、3本の橋脚がある。洪水時に橋脚にゴミが溜まるので、堤防が決壊する可能性があるのではと不安である。南砺スマートインターの建設にともない、架け替えの予定があると聞いているが、橋脚の無い吊り橋構造等の検討をお願いしたい。	

No	分野	項目	主な意見	意見者					意見	回答案
				意見箱	インターネット	オープンハウス	説明会	FAX		
59	その他	パンフレットに関する事項	パンフレットをもっと見やすくしてほしい	○					全体的に、ページ数、文字が多すぎて読んでいても頭に入ってこない。途中で挫折してしまいました。 例えばP1.2の概要に赤文字でP5の対急区間を入れれば…	次回、整備計画に関するパンフレットを作成する際に参考とさせていただきます。
60				○					水防に役立つ情報の提供がP9に書かれていますがもう少し大きく記載した方が良いのではないかと思います。天災が多く発生している今、国民(市民)の関心が高いと思います	
61				○					表紙の片隅に何かキャラクターを	
62				○					3Pの災害現状、課題地点を、(5P)地図上におおまかに記入してあればわかりやすい。	
63					○				パンフレットは12ページも読めないの、ポイントとなる項目を絞った概要版の作成を希望します	
64					○				パンフレットは12ページではなく、もう少し少ないページでのパンフレットにならないか。	
65					○				パンフレットの全体的な構成は分かりやすいが、写真や添付図に不鮮明なものが見られるのが気になった。	
66					○				どちらの河川が小矢部川か？不明。河川名を入れた方がわかりやすい	
67					○				御嶽山噴火のニュースで感じたのは、やっぱり自然は恐いなあと言うことです。 あくまで「整備計画に関するパンフレット」ではありますが、利用者それぞれが自然の猛威に曝される可能性があることを知らしめることも必要ではないでしょうか？	
68					○				ウマノズグサの生育に配慮した堤防除草の実施の添付写真は、ジャコウアゲハの保全の取り組み標識である。添付写真は説明文の内容と整合性をもたせて、保護区域の設定、花壇の写真および除草作業の工夫したものが理解しやすいと思います。 それでなければ、説明文をジャコウアゲハの内容に変更されることを提案します	
69								○	小矢部川についてあらゆる角度から説明されており、とてもわかりやすいパンフレットだと思います。 特に、図や写真が見やすく、理解しやすいと感じました。(P1、P3) P7の図はもっと大きくなるとより見やすいと思いました。	